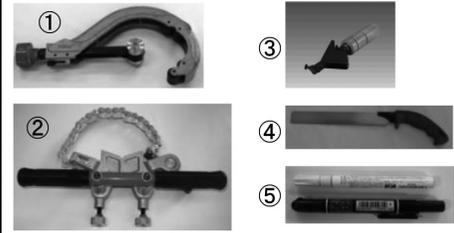


施
工
手
順

1. 工具



工具名

- ①外層用カッタ(外層付PE専用工具)
- ②チェーン式クランプ(同上)
- ③保護層カッタ(同上)
- ④手鋸(現場準備品)
- ⑤白・黒マジック(現場準備品)

注)融着用基本工具は、水道配水用ポリエチレンパイプカタログ参照

2. 材料



5m直管の両端は予め外層が取り除かれています。

製品名

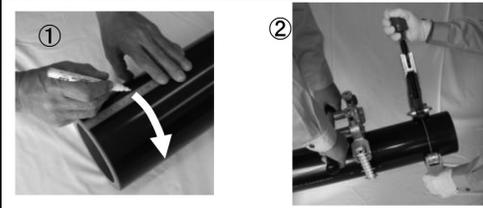
- ①外層付直管
写真は現場で切断した場合は、
- ②外層付EFソケット



梱包箱に保護シールが同梱されています。(ソケット1個に2枚必要)

3. 切管後の管端処理(5m直管は不要です。4.に移して下さい。)

(1) 円周方向



- ①差込長さの位置に標線を全周記入して下さい。
- ②外層付WPE専用外層カッタで外層のみを切断します。
・1~2回転程度で切断できます。
△ 刃の送り過ぎに注意して下さい。
❗ 外層カッタはサイズに適合しているものを使用して下さい。

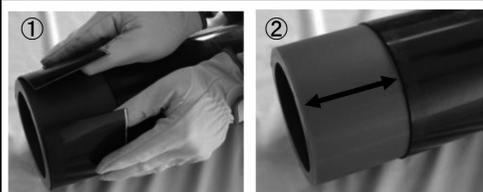
(2) 管軸方向



△ 内管に傷を付けないよう注意して下さい。傷を付けた場合は、スクレープで除去できる傷深さが限界です。

- 外層を保護層カッタで切断します。
❗ 保護手袋を着用して下さい。
△ 切断時に保護層カッタの刃で手などを切らない様に注意して下さい。

(3) 外層の除去



- ①外層を取り除いて下さい。
- ②規定の差込長さ分の外層が取り除かれていることを確認して下さい。
❗ 差込長さはEF継手に同梱のバーコードカードで確認して下さい。

お守りください

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



行ってはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

4. スクレープ(切削)及び清掃

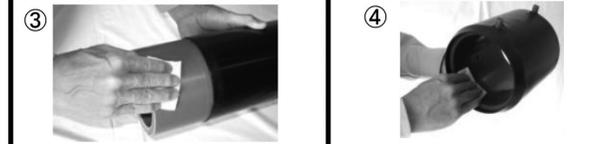
切削面のマーキング スクレープ



- ①切削面にらせん状のマーキングを記入します。
- ②電動式スクレープを用いて、管端からマーキングが全て消えるまで内管表面を切削します。
❗ 切削面をマーキングしてから切削して下さい。
❗ 融着面に有害な傷がある場合は、その箇所を切断して下さい。

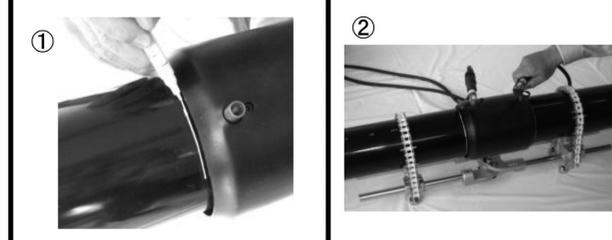
パイプ挿入部清掃

ソケット内面清掃



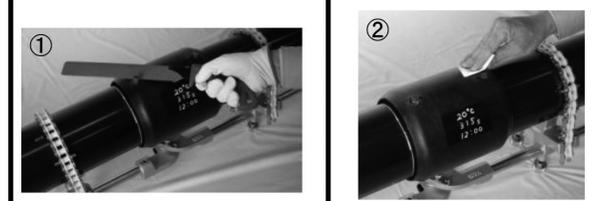
- ①事前に内管の汚れを清掃して下さい。
- ③④管切断面とソケット内面をエタノール等をしみこませたペーパータオルで清掃して下さい。
△ ペーパータオルは弊社推奨品をご使用下さい。
❗ エタノールは95%以上の純度のものをご使用下さい。

5. 挿入、固定、融着



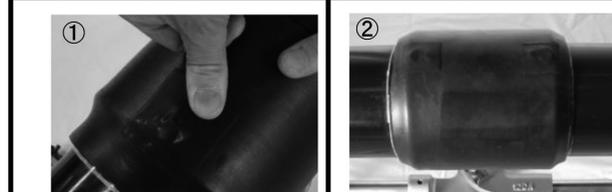
- ①標線記入
切削・清掃済みの管にソケットを挿入し、ソケット端部を利用して円周方向にマーキング(標線)を行って下さい。
❗ 清掃面に触れないで下さい。触れてしまった場合は、再度清掃を行って下さい。
②ソケットを標線位置まで挿入し、クランプで固定します。
③融着、冷却作業(水道配水用ポリエチレンカタログを参照して下さい。)

6. 端子切除



- ①冷却完了後、端子は外層表面と同じ高さの位置で、外層を傷付けないように手鋸を使用して切除して下さい。
△ 端子の切り残しが大きいと、保護シールが剥れる原因となります。
②保護シールを貼り付ける範囲をペーパータオル、エタノールで清掃して下さい。
△ 汚れが付着していると、シールが剥れやすくなります。

7. 保護シール貼り付け、完成



- ①端子及びピンジケータが全て隠れるように、保護シール端部を隙間無く圧着して貼り付けて下さい。隙間があると剥れやすくなります。
❗ 保護シールを貼り忘れますと、ソケットが紫外線劣化しますので、貼り忘れないで下さい。
②施工完了です。

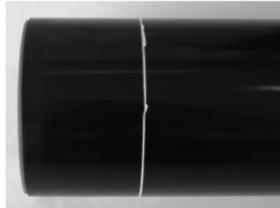
裏面も参照して下さい

施
工
上
の
注
意
点

1. 外層へのマーキング、文字の記入について

外層に白色の油性マジックで記入する場合、施工後に目立つ可能性があります。記入については施主と協議の上、対応をお願いします。以下に記入例を掲載します。

記入例



白色が分かりやすいですが、目視確認できる場合は、黒色のマジックで標線記入を行っても問題ありません。

記入例



クランプ取り外し可能時刻等を継手に記入する場合は、事前にテープを仮止めし、テープに記入して下さい。テープは施工完了後剥がすと、文字は残りません。

2. スクレープについて



外層まで切削しないように注意して下さい。
紫外線防止効果が低下する恐れがあります。

3. 内管の露出について



管の挿入不足や外層の除去範囲が大きい場合、内管がむき出しになります。一部でも内管が露出しないように、施工手順を順守して下さい。

4. パイプの切断について

- ① パイプの切断に使用するパイプカッターは、PEI(JWWA対応)用を使用してください。PE用では使用できない場合があります。

5. 運搬、保管について

5-1. 一般的注意事項

- △ クボタケミックス外層付水道配水用ポリエチレン管は全梱包された状態で納品されますが、移動、吊り込み、接合の際に、管表面に傷を付けないよう、取り扱いには慎重に行ってください。

5-2. 運搬

管や継手の運搬に当たっては次の事項に注意して下さい。

- ① トラックからの積み降ろしの際など、管や継手を放り投げたりして衝撃を与えないで下さい。
- △ トラックで運搬の際、管が吊り具や荷台の角に直接あたらないようにクッション材で保護して下さい。
- ① 運搬のときは、必ず管全体を持ち上げて運び、引きずったり滑らせしないで下さい。
- ① 固定及び荷降ろしに用いるロープは、管を傷つける恐れのある金属製のものは使用せず、布製若しくはナイロン製等、管に傷が付かないものを使用して下さい。

5-3. 保管

△ 管は、外面傷、へこみ等のないように保管して下さい。

- ① 管の保管は、屋内保管を原則としていますが、やむを得ず屋外保管する場合は、シート等を掛けて保管して下さい。
- ① 外面傷、外層の剥離、管の汚れ等を防止するため、梱包したまま保管して下さい。
- ① 平坦な場所を選んで、枕木を1m間隔で置き、不陸が生じないように横積みして下さい。

古藤工業(株)製補修用防食テープのご紹介 防食テープK450(幅50mm、厚さ0.4mm)



御問合せ先 住所	御問合せ先 古藤工業株式会社 販売部 〒970-1144 福島県いわき市好間工業団地12-1
電話番号	0246(36)7151(代)
FAX	0246(36)7157

株式会社クボタケミックス

本 社 ☎556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号 ☎(06)6648-2375
 東京本社 ☎103-0007 東京都中央区日本橋浜町三丁目3番2号 ☎(03)5695-3274
 北海道支店 ☎060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番44 ☎(011)214-6291
 東北支店 ☎980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目6番1号 ☎(022)267-8955
 中部支店 ☎450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号 ☎(052)564-5145
 中国支店 ☎730-0036 広島市中区袋町4番25号 ☎(082)546-0490
 四国支店 ☎760-0050 高松市亀井町2番地1 ☎(087)836-3908
 九州支店 ☎812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目2番8号 ☎(092)473-2453
 北陸営業所 ☎920-0022 石川県金沢市北安江一丁目11番7号 ☎(076)223-2520
 沖縄営業所 ☎900-0016 那覇市前島三丁目1番15号 ☎(098)868-1110